

第204号

令和5年11月1日発行

発行所

一般社団法人 埼玉県電業協会

発行人 積田優

編集人 広報委員会

(委員長 矢嶋博和)

事務局

〒336-0031 さいたま市南区鹿手袋4-1-7(建産連会館内)  
http://www.saidenkyo.jp/ E-Mail kyokai@saidenkyo.jp

さいのかがやき

# 彩の耀

一般社団法人 埼玉県電業協会

耀け埼玉埼電協!

～2030年に向けて持続可能な開発目標～



TEL 048(864)0385

編集 日本工業経済新聞社(埼玉建設新聞)

## 災害復旧対策講習会 実践的な防災対策学ぶ



防災体制づくりの参考とするため、毎年、防災の日の近くに開催している災害復旧対策講習会を9月5日、埼玉建産連研修センターで開き、協会員をはじめ県関係機関を含めおよそ80人が聴講しました。



積田会長

協会では2005年9月に、埼玉県知事との間で災害時における電気設備等の応急対策業務に関する協定を締結しました。その後、関係20カ所と協定を結び、災害実働マニュアルに沿って有事の際の電気設備復旧体制づくりに取り組んでいます。

冒頭のあいさつで積田優会長は「協会では、有事の際に会社や事業を継続していくためのBCP(事業継続計画)を、協会員全社が取得する取り組みを進めています。また、災害から人命や資産をどう防ぐか、影響を少なくするための防災計画も各社で作成しなければならないと思っています」と述べ、協会としてBCPと防災計画を会員へ取得するよう促している姿勢を示しました。そして「私たちの地域は災害が少ないという認識をお持ちの方も多いと思いますが、この講習会を防災に対して意識を再認識する機会としてほしい」と、有意義な講習となるよう期待しました。

講習では、最初に県災害対策課の芦邊修一主幹が、埼玉県の災害対策について講演。次に災害リスク評



災害復旧対策講習会

価研究所の松島康生代表が、埼玉県で発生する重大な災害リスクと実践的な防災対策について。さらに、事故防止対策委員会の山本和利委員長は、本年度から行っている災害実働マニュアルの電子化について、それぞれ説明しました。



東部支部のワーキングセミナー

## 認定申請書の記入方法説明

### 5支部毎にBCPワーキングセミナー

会員にBCP(事業継続計画)の認定取得を促すため、9月の毎週金曜日に5支部毎にワーキングセミナーを開き、概要や認定申請書の記入方法を説明しました。

ワーキングセミナーは、9月1日の東部支部からスタート。以後、南部支部、さいたま支部、北部支部、西部支部と順に開催しました。

説明会は、公益社団法人埼玉県産業振興公社経営支援部の担当職員が説明しました。BCPの内容について説明した後、認定申請書の記入見本をもとに、一つずつ記入の注意事項を解説。申請書を自社に合う形で完成形に近づけました。

BCPは、企業が自然災害、大火災、テロ攻撃などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく計画のことです。この計画を策定することで、企業は災害などの緊急事態に備え、事業を継続することができます。

# 「誰もが自分らしく 充実した日々が送れる まちづくり」を目指して



富士見市長 星野 光弘

一般社団法人埼玉  
県電業協会の皆様  
におかれましては、日  
頃より、電気設備産  
業の適切な運営及び

健全な発達を図ることにより、社会生活の安定と社会福祉の向上に、多大なるご尽力を賜っておりますこと、厚く御礼申し上げますとともに、この度、広報誌「彩の耀」第204号のご発行、心よりお喜び申し上げます。

富士見市は、首都30キロメートル圏内に位置し、池袋まで電車で30分以内とアクセスに優れる一方、湧水や緑、田園風景が多く残され、都市と自然が調和した住み良いまちとして発展してまいりました。

また、令和4年の4月に市制施行50周年を迎えた本市では、先人たちが築いてきた市の魅力や歴史を紡ぎ、確かな歩みを進め、今もなお、人口が増え続けており、現在では、人口11万3千人を超えるまでに成長しております。

周辺都市を結ぶ道路網は、南北方向に国道254号（川越街道）、東西方向に国道463号（浦和所沢バイパス）が走っており、近接している関越自動車道へのアクセスも良好となっております。令和5年7月29日には、国道254号和光富士見バイパスの一部も開通し、現在、この和光富士見バイパスとつながる富士見川越バイパス沿いの富士見上南畑地区において、埼玉県企業局により進められている産業団地整備は、本市のさらなる成長の核となるものです。

鉄道は、市内に東武東上線の駅が3駅あり、東京メトロ副都心線や東急東横線、横浜高速みなど

みらい線のほか、令和5年3月には、相鉄線との相互直通運転が開始されるなど、交通の利便性がさらに高まっております。

さて、社会を取り巻く環境は、世界的な気候変動に伴うグリーン分野への対応やポストコロナに向けたデジタル分野の加速化などにより、大きな変革の時代を迎えております。

このような中、本市では、市制施行50周年記念式典において、「富士見市ゼロカーボンシティ宣言」を表明いたしました。また、行政手続きのオンライン化やシステムの標準化・共通化を図るなど、DXを推進し、「スマート自治体への転換」を目指しております。

さらに、市民の皆様の安心安全の確保、産後ケア事業の拡充や保育所・放課後児童クラブの整備をはじめとした子ども・子育て支援、STEM教育の実施や学校施設整備などの学校教育の充実、フレイル予防事業の実施をはじめとした健康寿命の延伸に向けた介護予防・健康づくりの推進など、市民の皆様が笑顔になれるような取組みを進めております。

そして、本市のまちづくりの指針である「第6次基本構想」で定めた理想の未来「誰もが自分らしく充実した日々が送れるまちづくり」を目指して、今後におきましても、全力で市政運営に取り組んでまいりますので、引き続き、貴協会の皆様方のご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、埼玉県電業協会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念申し上げます。挨拶といたします。

主 要  
事 業

# 企業対策セミナー

第2回

17 パートナシップで  
目標を達成しよう

## 高いレベルの施工を

8月3日、さいたま市内の埼玉県男女共同参画推進センター内で、本年度第2回となる企業対策セミナーを埼玉県空調衛生設備協会と合同で開催しました。それぞれの協会から30人、計60人を超える参加者が集まり、県の総合評価方式に係る資料作成ポイントや、円滑な施工確保について理解を深めました。

主催者を代表して積田会長は「私たち両協会の会員は、県民の皆様役に役立つインフラ設備の整備や維持管理を通して、社会に貢献していくことが使命。そのためには、われわれ会員企業が、常に一定の高いレベルの施工をできるようにしていくことが、これから大事なことだと思っている。本日のセミナーが各企業のプラスになり、これから事業が発展していくように」呼びかけました。

第1部では県教育施設の整備状況について、県教育局財務課の葛城浩副課長と中村暢宏主任が説明。改修工事の令和3年3月にまとめた教育局資産マネジメント方針に基づき、予防安全による建物の長寿命化を基本に進めていく県の考えを示されました。その後、総合評価方式に係る資料作成のポイントと設備工事施工のポイントや留

意点を、埼玉県総合技術センター主席工事検査員の須永達雄氏と主任工事検査員の玉野和夫氏が解説しました。

第2部では、関東地方整備局営繕部官庁施設管理官の神島博俊氏が、円滑な施工確保に向けた取り組みを紹介するとともに、競争参加資格申請書作成時の留意事項を解説しました。それぞれ、質疑応答の時間を設けて、理解が進むよう有意義なセミナーとなりました。



セミナーは埼空衛との合同で行いました

主 要  
事 業

# 技術講習会

第1回

9 産業と技術革新の  
基盤をつくらう

## 仕様書や積算基準改正点を解説



積田会長

7月31日に本年度第1回技術講習会を、埼玉建産連研修センター大ホールで開催しました。その中で、県電気設備工事の特別共通仕様書と建築工事共通費積算基準のそれぞれの改正点を、県の担当者にご説明いただきました。

この講習会は、同協会の技術研究委員会（深井正美委員長）が所管する事業で、深井委員長が司会進行を務めました。あいさつで積田会長は「電気設備に関する技術、施工は日々変化している。協会員全体が一定の高いレベルを保てるよう常に学び、成長し続けることが重要で、これからもそうした協会事業を進めていきたい」との姿勢を示しました。

講習は最初に、埼玉県電気設備工事の特別共通仕様書と埼玉県建築工事共通費積算基準の改正点を、県土整備部建設管理課建築技術・積算担当の横山勇斗主任が説明しました。その中で、建築工事共通費積算基準の主な改正内容として、共通費算定式や共通仮設費および現場管

理費の見直しや、建築工事において監督員事務所を設けない場合は補正值を乗じるとした算定式を記載したことなどを紹介しました。その後、内線規程の改正点をパナソニック(株)エレクトリックワークス社の仲田亨課長、さらに省施工構法を同社の佐藤圭太郎主務がそれぞれ説明しました。



会員企業や官公庁から多くの参加者が集まりました

# 受験準備講習会



## 目指せ！第一種電気工事士 筆記試験受験準備講習会で実力アップ

第一種電気工事士の筆記試験受験準備講習会を9月1日、8日、15日、22日、29日の5日間に渡り、埼玉建産連研修センターで開催しました。講師は、ケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏が務め、参加した22人がカリキュラムに沿った講義を受けたほか、過去に出題された試験問題に取り組み、筆記試験を突破するための指導を受けました。

5日間とも、午前に講義を行いました。内容は、高圧受電設

備や配線図、制御回路、電気機器、電気工事の施工方法、関係法令など多岐にわたり、午後は過去問題を使用した模擬試験を実施した後、小泉講師が採点を行いながら内容を解説しました。



講習会には22人が出席しました

### 1級電気通信工事施工管理技士 一次検定試験対策を指導

1級電気通信工事施工管理技士の第一次検定試験突破を目指して7月26日と27日の2日間、受験準備講習会を埼玉建産連研修センターで開催しました。講師はSEEDOの前田義文氏が務め、7人が受講しました。



今後の流れを説明

前田氏は試験を受けるうえでの注意や出題傾向を紹介するとともに、実際の過去問を用いて実践的な解答方法を伝授しました。

### 2級電気通信工事施工管理技士 試験概要と対策学が

2級電気通信工事施工管理技術検定試験の受験準備講習会が10月4日、11日、19日の3日間行われました。

10日は最初にガイダンスが行われた後、電気通信工学や電気通信設備について、試験の概要と対策を学びました。11日は施工管理や建設業法などの法規について理解を深めました。19日は試験に対する注意点も含め講義を受けました。



初日のガイダンス

## 1級電気工事施工管理技士取得へ 二次検定受験準備講習開く

1級電気工事施工管理技術検定の第二次検定受験準備講習会を9月7日、14日、21日、10月5日の4日間に渡り、20人が参加して埼玉建産連研修センターで開きました（=写真）。

講師は、ケイ・教育企画サポート事務所主宰の小泉一夫氏が務めました。初日の7日は、検定試験の概要や試験の出題範囲、記述解答書の作成方法、施工経験記述の作成方法、用

語の定義・工程管理問題の解答方法、試験日までの学習方法を説明。4日間とも毎回模擬試験を行い、解答の添削、きめ細かな個人別学習指導も行いました。



## 特別教育

### フルハーネス型安全帯使用作業特別教育 知識や使用方法研修



7月25日に、フルハーネス型安全帯使用作業特別教育が、埼玉建産連研修センターで開かれ、24人が参加しました。高所作業に欠かすことのできない墜落制止用器具の知識や使用方法などを学びました。

その中で、安全帯に関する知識として、フルハーネス型やランヤードの種類と構造、安全帯の使用法や保守、保管方法などの説明を受け、その後、実技として、装着方法や墜落制止用器具の点検のポイントや点検方法について理解を深めました。



24人が参加しました

シヨンの順に講義を行いました。座学では、アンカーの分類を詳細に説明したほか、品番の見方や施工方法などを解説。実技では、コンクリートブロックへ各種アンカーの取り付け作業を実際に体験しながら学びました。



各種アンカーの取り付け作業を体験

### 足場の組立て等作業主任者技能講習 安全管理を再確認



8月24日と25日の2日間、令和5年度「足場の組立て等作業主任者」技能講習を、埼玉建産連研修センターで実施し、10人が参加しました（=写真）。

1日目は、作業方法に関する知識として、足場の組立て、解体等における災害事例から教訓を得るとともに、作業主任者の役割、足場の種類や各種足場の組立てを学びました。2日目は、工事中設備、機械器具、作業環境等における知識を中心に習得したほか、作業者に対する教育等の知識、さらに労働安全衛生法などの関係法令を学び、最後に修了試験を受けました。



### あと施工アンカー講習会 施工デモで作業体験



8月28日、あと施工アンカー講習会を埼玉建産連研修センターで開き、あと施工アンカーの使用例や施工上のポイントを学びました。

講師は、サンコーテクノ(株)が座学、実技の施工デモンストレー

## ラグビータウン 熊谷

Voice

(株)東電工業社 代表取締役 小暮淳夫



## スクラム! クラガヤ

熊谷市は、「ラグビーで町を元気に」という取り組みを行っています。

熊谷市とラグビーについてご紹介します。

熊谷とラグビーの関係は、古く1967年にさかのぼります。1967年の埼玉秋季国民体育大会でラグビーが開催され、埼玉県は「教員の部」に出場するチームを強化しようと、大学のトップレベルでプレーしていた選手を体育教師などとして次々と採用したことがきっかけとして、熊谷を中心にラグビーの裾野が広がっていったそうです。

私がラグビーを知ったのは、46年前に熊谷工業高校に入学したことです。

当時、熊谷工業高校は、埼玉県ではラグビー強豪校で幾度となく全国高等学校ラグビーフットボール大会に出場していました。毎年12月末から翌1月の始めにかけて、東大阪の花園ラグビー場で行われる、ラグビーの甲子園と呼ばれている大会です。

1986年に準優勝をし、1990年に、念願の全国制覇をした翌年の1991年に「ラグビーの全国大会を熊谷で開催」を合言葉に熊谷ラグビー場が完成しました。完成したラグビー場は、メインスタンドとスコアボードがあり、グラウンドの3辺は、コンクリートの擁壁が600mm位立ち上がっていて、グラウンドと観客席を分けているものだけでした。

完成したグラウンドの柿落として全早明戦を、芝生の上で観戦しました。

2000年に、ついに第1回全国高等学校選抜ラグビーフットボール大会が熊谷ラグビー場で開催されました。春の選抜ラグビー、春高ラグビーと呼ばれる大会です。

今年も、第24回大会が3月末に開催され、東福岡高校が優勝しています。

埼玉県代表は、川越東高校が出場しています。最近では、川越東高校、昌平高校、深谷高校等強豪校が多くなり、熊谷の高校の名前が聞けないのが寂しい思いでいっぱいです。

2016年より大規模改修が行われ、2018年に現在の2万4千人収容のラグビー場が完成しました。2019年ラグビーワールドカップ日本大会では、熊谷でロシア対サモア、ジョージア対ウルグアイ、アルゼンチン対アメリカの3試合が行われ、熊谷が人で埋め尽くされ盛り上がっていました。

2020年に「ラグビーを通じた地域振興協定」をパナソニック、太田市、大泉町、熊谷市の4者で締結し2021年8月に熊谷市に本拠地を移転となり、チーム名も「パナソニック ワイルドナイツ」から「埼玉パナソニック ワイルドナイツ」に変更になり2022年は、NTTジャパンラグビーリーグワンの初代王者に輝きました。残念ながら2023年は、2点差でクボタスピアーズ船橋・東京ベイに負け準優勝となりましたが、来年はぜひ王者に返り咲いて欲しいものです。

皆さんは、ラグビーの精神は知っていると思います。紹介させてください。

「One for All, All for One」は一般的には「1人はみんなのために、みんなは1人のために」と訳されています。ラグビーでは、ボールを持っている1人の選手を、ほかの14人の選手がトライを決めるために全員でサポートする、トライを決めた選手が主役ではなく、チーム全員が主役だという意味だそうです。

「ノーサイドの精神」は、試合が終われば敵も味方もなく、お互いの健闘を称え合い、感謝し、ラグビーを楽しんだ仲間として友情を深めるという意味だそうです。

これからが、ラグビーシーズンに入ります。12月には、NTTジャパンラグビーリーグワン開幕になります。熊谷ラグビー場で、一流選手のプレーを見て、興奮と感動を味わってみてはいかがでしょうか。

## 県住説明会で注意事項確認

7月5日に、本年度の県営住宅消防・電気設備保守点検業務実施説明会を、埼玉建産連研修センターで開催しました。当日は、埼玉県住宅供給公社技術部公営住宅技術課の職員を招き、参加したおよそ40人の会員各社の現場責任者らは、本年度の保守点検や修繕工事の注意事項、報告書の提出方法等を確認しました。

あいさつで同課の会田卓永課長は「県営住宅は築35年以上が半分を超えた。付帯設備を含む建物全体の老朽化が進んでおり、多くの不具合が発生している。入居者に安全安心に暮らしていただくため、建物を安全に維持していくことが公社の使命であるが、皆さまの協力がなければ、われわれだけではその使命を果たすことはできない」と強調。続けて「今の時代、電気がなければ生活

は成り立たない。皆さまの日頃の対応が入居者の生活を支えている。書類の作成では細かなルールもあり、手戻りないよう仕事を進めていきたい」と協力を呼びかけられました。

その後説明に移り、第1部では住宅施設概要や保守点検、修繕工事、負担区分について、第2部では点検実施、点検結果報告書の作成や提出方法等について説明を受けました。



会田課長が協力を呼びかけた

# 協会のうごき

## 9月

- 1日 BCPワーキングセミナー (東部支部)
- 5日 災害復旧対策講習会
- 6日 広報委員会
- 8日 BCPワーキングセミナー (南部支部)

- 15日 BCPワーキングセミナー (さいたま支部)
- 19日 第6回理事会
- 22日 BCPワーキングセミナー (北部支部)
- 29日 BCPワーキングセミナー (西部支部)

## 10月

- 4日 正副会長会議
- 18日 第7回理事会
- 20日 第3回企業対策セミナー  
50周年事業特別委員会

## 11月

- 2日・3日 会員交流大会
- 6日 令和5年度中間監査
- 7日 第2回技術講習会
- 21日 第8回理事会 (ZOOM)
- 30日 三県連絡会議

### 埼玉県認定職業訓練事業

第一種電気工事士試験 (筆記) 受験準備講習会	9月1、8、15、22、29日
1級電気工事施工管理技術検定試験 (二次) 受験準備講習会	9月7、14、21・10月5日
石綿作業主任者技能講習	9月29日・10月2日
2級電気通信工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	10月4、11、19日
2級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会	10月6、13、18、24、31日
第一種電気工事士試験 (技能) 受験準備講習会	11月2、9、16、24、30日
高圧・特別高圧電気取扱者特別教育	11月27、28日

## (一社) 埼玉県電業協会会員

支部長◎ 副支部長○

### さいたま支部 (15社)

- 旭電気工業(株)(大宮区)
- 浦和電気工事(株)(南区)
- 大塚電設(株)(浦和区)
- (株)岡村電機(緑区)
- 埼玉田中電気(株)(南区)
- 埼玉電設(株)(中央区)
- 栄電業(株)(上尾市)

- 新生電気工事(株)(見沼区)
- (株)積田電業社(浦和区)
- 中村電設工業(株)(岩槻区)
- (株)配島電機(大宮区)
- (株)万代電気工業(桜区)
- (株)丸電(西区)
- 瑞穂電設(株)(北区)
- ◎(株)八洲電業社(北区)

### 東部支部 (13社)

- (株)内田電気商会(久喜市)
- (株)大久保電気(越谷市)

- 倉持電気(株)(三郷市)
- (株)三進電気工事(上尾市)
- 島村電業(株)(上尾市)
- (株)新電気(三郷市)
- (株)大広電気(八潮市)
- 大洋電設工業(株)(越谷市)
- (株)高岡電気工業(松伏町)
- ニチデン技術サービス(株)(北本市)
- ◎深井電気(株)(北本市)
- 富士電気工業(株)(北本市)
- (株)弓木電設社(白岡市)

### 西部支部 (18社)

- 飯島電器工事(株)(川越市)
- (株)市之瀬電設(志木市)
- (株)大庭電気商会(川越市)
- (株)岡島電気商会(川越市)
- (株)おぎでん(川越市)
- クマタ(株)(狭山市)
- (株)三共電気商会(和光市)
- (株)関根電気商会(川越市)
- 相馬電業(株)(和光市)
- (株)電成社(川越市)
- (株)中村電気(新座市)
- ◎橋電(株)(所沢市)
- (株)橋本電工(所沢市)
- フジヤ電気工事(株)(川越市)
- (株)北産電設(所沢市)
- (株)まつもと電機(和光市)
- (株)明電社(川越市)
- (株)ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

- (株)奥富電気工事(川口市)
- (株)佐久間電設(川口市)
- 佐野電機(株)(川口市)
- 三位電気(株)(川口市)
- 高山電設工業(株)(川口市)
- 那須電機工業(株)(川口市)

### 北部支部 (15社)

- イーテクノス(株)(熊谷市)
- (株)イトラスト埼玉(行田市)
- (株)内村電気(深谷市)
- (株)エコー(深谷市)
- 共和電機(株)(秩父市)
- 熊谷電機(株)(熊谷市)
- (株)栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(株)(皆野町)
- 中外電気工業(株)(深谷市)
- (株)東電工業社(熊谷市)
- (株)長井電機(熊谷市)
- (株)沼尻電気工事(深谷市)
- (株)早川電工(鴻巣市)
- 松山電設(株)(東松山市)
- ◎(株)躍進電気(深谷市)

### 南部支部 (7社)

- ◎内山電設(株)(川口市)



## マナーの基本を再確認 新入社員フォローアップ研修



7月11日と12日の2日間、埼玉建産連研修センターで新入社員フォローアップ研修を開催しました。入社からこれまでの3カ月を振り返り、電話対応などマナーの基本を再確認したほか、電材に関する知識を深めました。

人材育成委員会の佐野雄一朗委員長は、今回のテーマでもあるコミュニケーションの重要性について「先輩やお客さまと話す時に、言ったことと理解していることの食い違いが出てしまうことがある。その点を理解して、聞かれたら確認をすることを礼儀正しくできるかどうか大事になってくる。そうした意味からも『報連相』は

仕事の第一歩。それができないと次の仕事に移っていけないことになる。スキルとして身につけて、その後、いろいろな資格をとってほしい」と有意義な研修を期待しました。

初日となる11日は、仕事の基本やコミュニケーションについて確認。12日は電気技術講習としてメーカーを講師に招き、配線器具や照明器具の使い方などを学び、研修の後、受講者に修了証が手渡されました。



模型組立に取り組む